



2月号

No.469



ほんこう
(本校HPはここから)

つ だ し ょ う が っ こ う
横浜市立都田小学校

令和5年1月31日

スポーツはみんなのもの

ふくこうちょう ちば ひろおき
副校長 千葉 寛興

やすみ時間や体育の学習の時間になると、短縄の練習に取り組む様子が見られます。来月行われる縄跳び大会に向けて練習している子どもたちです。私にとっては初めての大会となりますが、都田小学校では縄跳び運動に熱心に取り組んでいることは、本校に着任する前に学校ホームページを通して知っていました。「都田の子日記」の記事の中でも縄跳び大会は特に印象に残っており、実際にどのように子どもたちが取り組むのかとても興味をもっていました。

小さい頃、自分が通っていたのは体育の学習が盛んな小学校でした。しかしながら体を動かす経験が少なかった自分は、友達ができることでもできないことが多く、苦手意識からさらに運動経験を少なくしていました。それに比べて本校の子どもたちはとても軽やかに跳びます。短縄は練習を重ねることで技を習得します。なぜ本校の子どもたちはここまで意欲的の取り組めるのか。私が縄跳び大会に興味をもったのはその理由を知りたいと思ったからです。

しかしながら、その理由は練習風景を見てすぐに分かりました。本校の子どもたちは練習を楽しんでいるのです。クラスの友達や異なる学年の人と仲良く取り組む子どももいれば、運動委員に技を教えてもらう子どもや先生と競い合う子どももいます。iPadで跳び方を撮影してもらい練習に生かす子どももいます。一人ひとりが、自分たちのやり方とペースで無理なく取り組んでいるのです。

縄跳び大会に向けて練習する子どもたちは、「スポーツ」を楽しむ姿そのものです。スポーツの語源も諸説ありますが「遊ぶ」という意味合いもあるそうです。またスポーツ庁の定める第二期スポーツ基本計画には、一人ひとりが運動に親しみ楽しむことを「スポーツはみんなのもの」と表現しています。

人はそれぞれ得意なことや苦手なことがあります。それでも無理なく継続的に取り組むことで昨日とは違った自分に成長していきます。みんなでスポーツに取り組むこの経験が、子どもたちの運動に親しみ意欲を高めるきっかけになるようかかわっていきたくて考えています。



日々の学校の様子は、ページ右上のQRコードから学校HPにアクセスし、「都田の子日記」からご覧いただけます。